

## 令和5年9月定例会 一般質問 中山武彦議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。（各議員からの「質問」（問）に該当する部分を黄色マーキングしております。）

### 「デジタル化について」

○中山武彦 おはようございます。

それでは、公明党の中山ですが、議長のお許しを得ましたので、一般質問をさせていただきます。

今回は3項目、1番目にデジタル化について、2番目は風水害について、3番目は保育・教育について質問いたします。

最初に1番目、デジタル化について質問いたします。

デジタル庁が2年前に発足いたしました。現在生成AIとか、またチャットGPTという言葉が盛んに聞かれておりますが、スマホを使えば文章を作成したり、人間のように自然な会話ができるということで、そのようなサービスも登場いたしました。とはいっても、日本のデジタル化まだまだ十分には進んでいない状況でございます。コロナ禍では、国、地方の情報システムがばらばらの状態にありました。各種給付金の申請や、また給付が迅速、円滑には行かなかったものでございます。

このような中で、政府は今急ピッチで社会全体のデジタル化を進められているところでございます。ご承知のように住民票を持つ全ての人に12桁のマイナンバーが振り分けられております。この番号に顔写真をつけて基本の4情報を載せてカード化したものがマイナンバーカードでございます。デジタル化の恩恵を受けるためには、このマイナンバーカードの活用が不可欠であると考えます。現在、このマイナンバーカードと連携した様々なサービス基盤の整備が進められておりますけれども、そこでまずお聞きいたしますが、現在の香芝市におけるマイナンバーカードの申請率と交付率について教えてください。

これで、壇上から1回目の質問を終わります。

○企画部長 日々変化しているわけですが、直近8月27日時点のデータということで申し上げますと、延べの申請率が87.3%、交付率は76.2%となっております。

○中山武彦 マイナンバーカードについて、かなり進んでいると。87.3%、延べということで、再交付等あると思います。

このマイナンバーカードについては、デジタル社会の構築には欠かせないと。先ほど述べさ

せていただきましたけども、そのように認識を持っておりますので、これ啓発進めていかなきゃいけないと思うんですが、オンライン上で利用できる本人確認用の証明書になるもので、信頼性、安全性が求められてるところですけども、しかしながら全国的にはマイナンバーカードの情報と既存システムが誤ってひもづけされたり、また誤登録等あるようございまして、またコンビニでの証明書の交付で別人のものが出てきたというふうなこともあります。トラブルが生じておりますけども、カードへの信頼性、損なわれる事案起きてますが、このマイナトラブルの原因の背景について教えていただきたいと思います。

**○企画部長** サービス基盤の整備におきまして、各行政機関等の中で情報提供ネットワークシステムを用いた情報連携を行っておりますが、健康保険、年金といったような複数の制度におきまして制度側で管理する制度固有の番号とこのマイナンバーの間にひもづけの誤りがあったことが明らかになっていることとございます。

原因の一つといたしましては、情報連携の際に各資格情報とマイナンバーをひもづける必要があるわけとございますけれども、対象者がマイナンバーを提出していないなどの理由でマイナンバーが分からないケースがあった場合、マイナンバーを管理する地方公共団体情報システム機構、いわゆる J-L I S に対象者の氏名、住所、生年月日、性別の4情報などで照会してマイナンバーを取得した上で登録することになってございます。この際に、氏名と生年月日だけなどの一部の情報のみで照会したことによって、誤って他人のマイナンバーを取得したことなどがその要因の一つ、背景というふうと考えられます。

以上です。

**○中山武彦** 今のご答弁では、ひもづけにおけるミスということで、マイナンバーやマイナンバーカード自体のトラブルではないと。多くの原因は、ひもづけに行った機関であったり、人為的なミスであるというふうに言えそうなんですけども、一部システム不具合もあったようございまして、政府はマイナンバーカードのこの導入の過程におきましてミスが生じている中でいろんなことを今、再発防止策とかやろうとしてます。マイナポイントの第2弾も9月末までということで、延長もされてるところとございます。このような誤ったひもづけ、今分かったわけですけども、そのことによってどのようなことが生じるのか教えてください。

**○企画部長** マイナンバー制度がデジタル社会の基盤として有効に機能するためには、マイナンバーがそれぞれの事務で正しく本人の情報にひもづけられていることがこれ必要でございます。前提となるわけとございます。各制度が持つ自分の情報が誤って他人のマイナンバーにひもづけられているような場合、各制度の事務に支障が生じ、マイナポータルで個人情報を確認しようとする際に各制度に関する自分の情報ではなく、他人の情報が閲覧可能となってしまう、情報の漏えいにつながるおそれがあると、これが一番大きな問題ではないかというふうな考え

てございます。

以上です。

○中山武彦 情報の漏えいというのは、非常に大きな問題だと思いますけども、マイナンバーを活用した中でメリット多いのにこういった間違ったひもづけがされると、大変に迷惑を被るということですが、再発防止、またシステムの導入によってエラーのない仕組みというものも今早く整えていく必要がありますけど、香芝ではこのようなトラブルは発生して起きているでしょうか。

○企画部長 幸いなことに本市でのトラブル等については、現状聞き及んでございません。

以上です。

○中山武彦 マイナンバーカード、香芝では今そのようなトラブルないということですが、今回のような事態があると信頼性が損なわれてしまいますので、せっきくのデジタル化の流れが途絶えてしまうということで、不安の払拭や問題解決ということが重要と思います。香芝でこのことについて何か相談、あるいはカードの返却ということがされた方はいらっしゃいますか。

○企画部長 やはり不安に思っらっしゃる方が少なからずおられるということで、新聞報道がなされていた時期におきましては相当の問合せがございました。現在は、若干落ち着いておるようなところでございます。

なお、マイナンバーそのものの返却ということでございますが、不安を理由とした返却につきましては、本年4月から8月末までの間に3件あったということでございます。

以上です。

○中山武彦 3件あったということで、相談、苦情等、かなりあったということで、当然のことかなと、このように思いますけども、マイナポイントを別人の人に付与されると大変ご立腹されると思いますしね。相談窓口での丁寧な説明ということをよろしくお願いをしたいと思います。お世話かけますが、お願い申し上げます。

マイナンバーカード、当初の説明では個人情報の漏えいを防ぐためにかなりいろいろ手を打っていると。一元管理もしておりませんということで、セキュリティーは高いと聞いてるんですが、12桁の個人番号とカード自体にはトラブルの直接の影響、原因はないということですが、個人情報の漏えい、とても気になる場所ですので、まずそこで改めて伺いますけど、マイナンバーカードそのもののセキュリティーは大丈夫でしょうか、高いのでしょうか。そのことを確認させてください。

○企画部長 マイナンバーカードのICチップに保存されている情報につきましては、氏名、住所、生年月日、性別、個人番号、本人の写真などの券面に、カードのそのものに記載されて

る情報と公的個人認証に用いる電子証明等に限られているわけでございます。そのため、マイナンバーカードの中に税や年金などのプライバシー性の高い情報は入っておりません。それらの情報は、厳格なセキュリティーで管理されたデータセンター等にて管理されております。

なお、それらの機微な情報は分散して管理されておまして、芋づる式に情報が漏れることのないような仕組みになっているということでございます。

以上です。

○中山武彦 セキュリティー高いということで確認させていただきました。

先日、政府の発表によりますと、トラブル再発防止のための総点検をするということで聞いております。現在、どのような状況にあるのか、お聞かせください。

○企画部長 国におきましては、本年6月21日にマイナンバー情報総点検本部をデジタル庁に設けた上で、この秋までにマイナンバー情報の総点検を行うということでございます。これを受けまして、先般、各制度の所管省庁が各実施機関におけるマイナンバーと情報とのひもづけ方法を確認するために、現場におけるマイナンバーのひもづけ作業の実態調査を行っておりまして、現在その調査結果を基に個別データの点検対象となる実施機関、対象業務が整理されたということでございます。

本市におきましては、今回の実態調査に基づく個別データの点検対象とはなってございません。しかしながら、今後デジタル庁等の要請によりまして、その他の調査が必要となった場合につきましては、しっかりと対応してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○中山武彦 しっかりと対応していくということで、費用負担等も生じる可能性もありますので、また国のほうとそのあたり、手当てをされると思いますが、対応のほうよろしく願います。

マイナンバーカードのデジタル化を進める上での不可欠性ということで進めていただきたいと思いますが、香芝市として普及促進についてはどのようにお考えなのか、教えてください。

○企画部長 マイナンバーカード情報の誤ったひもづけ問題など課題も多く、現在デジタル庁を中心に総点検が行われてるところでございますので、これらの状況等を鑑みまして、普及のための理解促進方策ということにつきましては慎重に検討する必要があるというふうに考えてございます。

今後、デジタル庁を中心に行われる総点検の結果、誤ったひもづけがない、また発生しないような状況となることが前提とはなりますけれども、マイナンバーカードの活用により市民の利便性向上が図れるもの、また市民サービスの充実につながるものがございましたら、マイナ

ンバーカードやマイナポイントを活用した香芝市独自の事業を実施することで、より一層マイナンバーカードの普及に努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

**○中山武彦** そのようなことで、総点検をされて再発防止がちゃんと整ったらしっかり機能していくと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

現在、マイナ保険証とマイナンバーカードということで、健康保険証とマイナンバーカードをひもづけたマイナ保険証ということが今切替えが行われてるそうございまして、本人が同意すれば薬剤とか健診の情報が医師や薬剤師にも伝わって、質の高い診療につながるというメリットや、また高額療養費の制度では一旦の一時払いの払いというものも免除、不要になるということも聞いております。メリットもたくさんあるということでございまして、今後様々なトラブルの対応をしていくと思いますので、その点、よろしくお願いしたいと思います。

また、公金の受取口座についてもスムーズにできるように改正マイナンバー法も成立して、多様なシステムがひもづくということですので、ぜひともメリットを生かした取組をお願いして、この質問は終わります。

続きまして、庁内のデジタル化について引き続きお伺いしますが、香芝市のデジタル行政の進捗ということですが、まずはデジタル技術を活用した市役所内の業務改善について進捗等教えてください。

**○企画部長** 本市の取組といたしましては、デジタル技術を活用した業務改善につきまして、まず電子文書を用いて決裁を行うことができる財務会計システムや文書管理システム、また定型的な事務作業をソフトウェアロボットによって自動化、効率化するRPA、時間や場所にとられない働き方を実現し、育児や介護等、仕事と生活の両立を図ることができるテレワークを導入して業務効率化を図り、人的資源を行政サービスのさらなる向上ということにつなげようと今努めているところでございます。

以上です。

**○中山武彦** では、市民にとってのサービスのデジタル技術の利便性が実感できるようなスマート行政ということについては進んでいるのでしょうか。

**○企画部長** オンライン申請やデータの利活用の促進などを代表とするスマート行政につきましては、マイナポータルからマイナンバーカードを用いたオンライン申請、子育て関連の業務15 手続、また介護につきましては11 手続、そして引っ越しについては6 手続、合計32 手続につきまして、またe 古都ならを利用した申請や講座の申込み、施設の予約といったオンライン申請、誰もがインターネットを通じて容易に利用できる加工や編集、再加工ができるようにオープンデータ、これは7 分類 19 データセットの公開、そして人工知能AI を活用した自由

な問合せに対して自動的に登録されたよくある質問から最適な回答をするA Iチャットボットなどを実施いたしましたして、市民がデジタル技術の利便性ということを実感していただけるような、そういった向上に努めているというようなところでございます。

以上です。

**○中山武彦** たくさん項目が進んでるといふふうに聞いて知ったわけですが、広報もしていただかないと、されてると思いますけど、関係者については知っている方もいらっしゃると思いますが、その点もよろしくお願ひしたいと思ひます。

これ以前に河杉議員からも提案がありましたマイナンバーカードなどを利用した窓口の読み取りで、書かない窓口ということも登場してます、各自治体によっては。また、オンライン申請、今のことでマイナンバーカード活用が浸透すれば、行かない窓口というか、行く必要なくなるということ、それが実現することにもなります。高齢社会の中で必須のシステムと思ひわけですが、今後さらなる推進のために市として計画があるのでしょうか。伺いたいと思ひます。

**○企画部長** 今ご指摘ございましたように、以前の議会におきまして市としてのDX推進のための計画の必要性についてご指摘をいただいたところでございます。先般、書かない窓口の先進地の視察をさせていただいたり、香芝市でどういった業務ができるのか、実現ができるのかといったことにつきましても、具体的に私どもも研究を進めているところでございます。

本市におきましては、市長を本部長といたします香芝市DX推進本部を令和5年5月1日に設置いたしましたして、今年度中に香芝市DX推進計画を公表できるように作業を進めておりまして、本市のデジタル化を計画的、かつ効率的に推進してまいりたいというふうにご考えているところでございます。

以上です。

**○中山武彦** ぜひとも推進のほうもよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

続きまして、女性デジタル人材について伺いたいと思ひます。

コロナ禍の中で雇用に大きな影響が出まして、非正規雇用の割合の高い、特に女性の雇用、就労に影響が出ました。大きな影響が出ており、感染拡大の初期には令和2年4月、大幅に女性の就業者数が減少をしたというふうにご厳しい状況が続きました。

一方、コロナ禍において求人が高くなっているのは、IT関係と医療や福祉、介護等の分野でございます。また、保育現場のほうも人手不足と、このようなことでございますけど、昨今のDXの流れによりましてデジタル人材への需要も高まっているということで、こうしたデジタル人材を育成するには一定程度の専門性が必要ですので、スキルの習得用のために時間的、経済的なものをクリアするような支援も必要であると、このように考えております。

国は、昨年より女性デジタル人材育成プランを策定いたしました。女性のデジタルスキルの習得支援、またデジタル分野への就労支援について3年間で進めるということにしていますけれども、香芝においても推進していただきたいと思いますが、香芝市でどう取り組むのか、伺いたいと思います。

**○市民環境部長** 女性デジタル人材育成ということで、香芝の取組のお伺いですが、男女共同参画社会の実現に当たって、香芝市では子育てをしながら求職中の女性や退職されて再就職を目指される女性にマザーズセミナーというものを開催してございます。このマザーズセミナーでは、デジタル人材育成に特化したような講座は実施には至ってございません。

なお、国が実施しておりますデジタルスキル、教育コンテンツの提供であるとかハローワーク、公的職業訓練についてホームページへの掲載だとか窓口での案内パンフを配布するなどして、この国の施策のほう、周知のほうを図ってまいりたいと考えてございます。

以上です。

**○中山武彦** マザーズセミナーということでやってらっしゃるんですが、国のほうでも確かにコンテンツ等、周知等を全国横展開をされるという計画ですので、活用してくださいということで啓発等お願いしたいと、それは大事だと思います。

今設定をされているマザーズセミナーの中で活用していただきたいと思うところですが、国のほうの事例集見ますと、兵庫県豊岡市では同じように子育ての支援拠点でデジタルマーケティングの基礎から応用までリアルとオンラインでされてる事例が出ておりました。女性デジタル人材ということによると、プランの中では女性の経済的自立や、またデジタルのジェンダーギャップの解消等も書かれておまして、これもマザーズセミナーに盛り込まれるものかどうか考えられますので、ぜひとも進めていただきたいと思いますが、その点、いかがですかね。検討していただきたいと思いますが、どうでしょうか。

**○市民環境部長** 他市町村の先進事例とか研究もさせていただきながら、おっしゃるようにマザーズセミナー、ハローワークとこれ協働して実施しておるものがございますけれども、そういった中、またその延長線上でデジタルスキルアップに特化したようなカリキュラムができないかどうか、これ1度検討させていただきたいと思います。

以上です。

**○中山武彦** では、よろしく願いいたします。

## 「風水害について」

**○中山武彦** 2番目につきまして、風水害について質問をさせていただきます。

近年、梅雨前線等、台風の影響等で大雨による被害が各地で多発しております。今年6月2日から梅雨前線の影響で香芝市に大雨が降りまして、土砂災害警戒情報が発令されました。警戒レベル4の避難指示が出たわけでございます。その日は、朝から激しく雨が降りまして、土砂災害や川の氾濫が懸念され、私も翌3日に治まった午後に気になるところを見回ったところ、山際の住宅地等で水路から水があふれ出したり、また道路の一部が冠水したり等々、散見されました。

昨今、各地で風水害が多発しておりますけれども、香芝市の職員の皆様、大変災害でいつもお世話になってますが、この実情について質問をしたいと思います。

まず最初に、警報等の状況、確認したいと思います。6月2日、3日の前線に伴う大雨によりまして、警報等の状況、どうであったか、時系列で教えてください。

**○危機管理監兼生活安全部長** 警報等の発表でございますけれども、6月2日、午前8時14分に土砂災害及び浸水被害に関します大雨警報と洪水警報が気象庁より発表され、次いで9時55分に土砂災害警戒情報が発表されました。

以上でございます。

**○中山武彦** 当日の雨量はどの程度だったのか、教えていただけますか。

**○危機管理監兼生活安全部長** 当日の雨量でございますけれども、奈良県河川情報システムに記録されておりますピーク時の雨量情報では、12時間で131ミリ、24時間で179ミリございました。

以上でございます。

**○中山武彦** 気象庁の警報が発表されたことに伴いまして、市ではどのような体制を取られたのか、教えてください。

**○危機管理監兼生活安全部長** 午前8時14分の大雨警報及び洪水警報の発表に伴いまして、水防第2配備の体制を取り、9時55分の土砂災害警戒情報の発表に伴いまして災害対策本部を設置し、午前11時に第1回対策会議を開催いたしました。

以上でございます。

**○中山武彦** その11時に開かれた第1回の対策会議ではどのようなことが協議されましたか、教えてください。

**○危機管理監兼生活安全部長** 内容でございますけれども、被害の状況報告及び対応、避難指示の発令や避難所開設の必要性につきまして協議を行いました。

**○中山武彦** 避難指示ということですが、これはどのように決定されたのでしょうか。その辺を教えてください。

**○危機管理監兼生活安全部長** 避難指示発令の判断につきましては、土砂災害警戒情報が発表

され、気象庁が公表しております危険度分布キキクル、こちらのほうにおきまして本市に警戒レベル4相当を示す紫色が表示されたこと、奈良地方気象台とのホットラインにおきまして電話協議を踏まえまして、2日正午に市内の土砂災害警戒区域にお住まいの方に対しまして警戒レベル4、避難指示を発令いたしました。

以上でございます。

○中山武彦 その2日正午の警戒レベル4の避難指示出されたということですけど、過去の香芝市の事例では平成29年の台風21号というところで初めて避難勧告が出たということなんですけど、土砂災害警戒情報発表後に現状の高齢者等避難、警戒レベル3に当たるもの、これが避難準備・高齢者等避難開始ということですけども、発令されまして、その後、避難の指示に至る避難勧告ですね、これが出されており、そういった順番踏んでいるわけですが、台風と違って前線の動きって分かりにくいと思うんですけども、今回いきなり避難指示が出されたという理由はなぜか、教えていただけますか。

○危機管理監兼生活安全部長 今回の警戒レベル3、高齢者等避難の発令を経ず、警戒レベル4、避難指示を発令いたしましたことについて時系列で申し上げますと、まず午前9時に気象庁の土砂キキクルにおきまして警戒レベル3相当が本市に表示されました。これを受けまして、雨量等の予測を視野に入れつつ、警戒レベル3、高齢者等避難の発令の検討に入りました。その30分後の午前9時30分に警戒レベル4相当になりまして、午前9時55分に土砂災害警戒情報が発表されたことを受けまして、警戒レベル4、避難指示の発令の検討が必要となりました。奈良地方気象台とのホットラインでの電話協議や災害対策本部の会議を経まして、避難所班の避難施設に派遣、正午に警戒レベル4、避難指示を発令するというふうに至りました。

以上でございます。

○中山武彦 30分、9時と9時半でかなり警戒レベルが変わってるという認識で、この間が短かったということだと分かりました。さきの答弁では、9時55分に土砂災害警戒情報が発表されて、第1回会議が1時間ほど空いてますけども、その1時間ほど空いた理由というものも教えてくださいませんか。

○危機管理監兼生活安全部長 土砂災害警戒情報の発表から対策会議開催まで1時間を要したのは、避難所開設に向けての避難部との調整や建設部との巡回結果の確認、要員班との応援体制の調整や奈良地方気象台との電話協議など、こちらのほうに時間を要しておりました。

以上でございます。

○中山武彦 大変に職員の皆様、関係者の皆様には厳しい状況で判断なったということで、大変感謝申し上げたいと。ありがとうございます。

実際、8時14分に警報が出されてから短時間で危険度分布が、これが上がったということ

で、対応には相当苦慮されたということですが、その点はいかがでしょう。

**○危機管理監兼生活安全部長** このたびの予報につきましては、当初昼過ぎから天候の悪化が見込まれておりましたけれども、予報よりも早く状況が変化いたしまして、発表される気象情報も短時間で変わりました。後日、奈良地方気象台との各市町村によります書面での振り返りにおきましても意見として上げられておりまして、気象台や他市町村におかれましても苦慮された状況がうかがわれます。高齢者等避難の発令を経ず避難指示の発令を判断したことにつきましては、やむを得ないというお言葉もいただいております。

以上でございます。

**○中山武彦** そういった状況であるということで、前線による特有のものということなんでしょうか。そのあたり、また検証していただきたいと思います。

次に、避難所開設について伺いますけれども、今回避難指示の発令に伴って避難所を何か所で開設し、また避難所別で何名の方が避難されたのか、教えてください。

**○危機管理監兼生活安全部長** 避難所につきましては、総合福祉センター、地域交流センター、智辯学園奈良カレッジの3か所を開設いたしました。

避難者数につきましては、総合福祉センターが6世帯13名、地域交流センターには1世帯4名、智辯学園奈良カレッジには3世帯9名、合わせまして10世帯26名の方が避難されました。

以上でございます。

**○中山武彦** 分かりました。

先ほども申し述べましたが、過去の台風21号のときの避難状況では、全体で41世帯96名ということで、今回の短時間の避難とはまたちょっと違う形で出ております。

当時は、台風21号の場合は関屋地区ですね、土砂災害警戒区域の多い関屋地区、これは14世帯41名が智辯学園奈良カレッジに避難されていたという状況ですが、子供から高齢者まで家族単位が多かったという答弁がございました。今回大雨の場合ですが、避難の年齢や居住地ごとの傾向についてはどうか、教えてください。

**○危機管理監兼生活安全部長** このたびの避難につきましては、過去の災害と比べまして比較的若い世代の避難者の方が多く見受けられました。避難された方の年齢層につきましては、10世帯26名のうち未成年の子供さんと30歳から40歳代の保護者の方、こちらのご家族が5世帯17名いらっしゃいました。また、75歳以上の高齢者の方につきましては4名でございました。

居住地につきましては、関屋北より4世帯10名、磯壁から2世帯4名、穴虫西より1世帯4名などでございました。

なお、警戒レベル4、避難指示の対象区域であります土砂災害警戒区域からの避難者の方につきましては、6世帯17名でございました。

以上でございます。

○**中山武彦** 細かく聞きまして申し訳ないですが、そのことについてまた検証していただきたいと思います。過去からの検証もその都度されて生かしていただいているとは思っておりますけれども、8月は台風も多くありまして、現在も発生している状況でございます。今回の6月の雨、また今後の台風等につきましてしっかり検証されて生かしていただけるものと思っておりますけど、その点はいかがでしょう。

○**危機管理監兼生活安全部長** 今回の事案に限らず、災害後には経過報告書等を作成いたしまして、関係課内で検証を行うようにしております。今回の台風7号につきましても市長のほうへ検証の報告を行っております。検証につきましては、対応のさらなる改善に必要不可欠と考えてございます。今後も引き続き実施に努めてまいります。

以上でございます。

○**中山武彦** どうもよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

続いて、治水対策で、流域治水について伺いたいと思います。

都市創造部長に伺いますが、まず6月2日、3日の大雨による市内の被害状況について教えてください。

○**都市創造部長** 今回の雨による被害につきましては、崖崩れが1か所、道路肩の陥没が1か所、床下浸水が1か所、水路の大きな溢水が4か所ございました。それと、倒木が3か所ございました。

以上でございます。

○**中山武彦** 今お話のあった大雨による被害の対応についてはどうされましたか。

○**都市創造部長** 先ほど報告しました大雨による被害の対応でございますが、関屋の崖崩れによる水路断面確保並びに穴虫、桜ヶ丘の道路肩陥没は復旧工事を実施し、完了しております。また、関屋北四丁目の床下浸水につきましては、内水、個人宅敷地内の排水による被害の可能性のあることから、現在調査中でございます。水路の大きな溢水4か所につきましては、水路内に堆積していた土砂や詰まりの原因となったごみを撤去、回収し、対応済みでございます。倒木の3か所につきましても、いずれも撤去済みでございます。

以上でございます。

○**中山武彦** 対応のほうもありがとうございます。

近年の危険な暑さということもありまして、線状降水帯等も多発しているという状況でございますが、まさに異常気象というふうに思うんですが、台風シーズンでなくても前線による大雨

等でも水害の発生が危ぶまれますのでお聞きしたいんですけども、治水対策ということで、まず国土交通省について全国全一級水系と 12 の二級水系におきまして流域治水プロジェクトということで策定、公表されてると聞いてますけども、その概要について教えてください。

**○都市創造部長** 流域治水プロジェクトは、近年の気候変動による災害の激甚化、頻発化を踏まえ、上流、下流、本川、支川の流域全体を俯瞰し、河川整備、雨水貯留浸透施設、土地利用規制、利水ダムの事前放流など、国、流域自治体、企業等、あらゆる関係者の協働による治水対策の全体像を取りまとめた初めての取組でございます。

以上でございます。

**○中山武彦** この流域治水プロジェクトについて、香芝におけるものについては一級水系の大和川ということで関わってくると思いますが、香芝市どのように取り組んでいらっしゃるのか、教えてください。

**○都市創造部長** 本市では、大和川上流部大規模氾濫に関する減災対策協議会及び大和川上流部流域治水部会に属し、大和川水系流域治水プロジェクトの一環といたしまして、ため池を活用した貯留浸透事業を推進しております。

以上でございます。

**○中山武彦** ため池の活用ですね、流域治水でされると。

大和川の流域総合治水対策協議会で流域全体の治水対策量の目標値と、そして市町村ごとの分担当が規定されているというふう聞いてますけども、香芝市の現在の事業進捗ほどの程度なのか、教えてください。

**○都市創造部長** 現在、9か所で事業を実施済みでございます。また、ため池貯留実績値は2万 8,913 立方メートルであり、計画対策量の5万 5,300 立方メートルに対して約 52%となっております。

以上でございます。

**○中山武彦** 計画の半ばということで、まだまだ半分ほど治水対策が残ってるということですので、鋭意進めていただきたいと思いますが、今後の取組について伺います。

**○都市創造部長** 今年度におきまして、事業に適したため池を選定するため、市内 61 か所のため池について調査を実施する予定でございます。事業を実施して、効果が高いと見込まれるため池については地元水利組合と協議の上、事業を進めてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

**○中山武彦** 優先順位つけてされていくということですので、その点もしっかり進めていただきたいと思いますが。

この前の雨の被害では、崖崩れ、床下浸水等々ございましたけども、大規模な河川氾濫等には至ってないというふうなことでございます。被害箇所の復旧もほぼ終わってるということですが、尽力されてる皆様には改めて感謝を申し上げたいと思います。

そこで、今後も香芝では日常からの災害の備えということと、そしてまた浸水被害などの水災害の備えということで、こういったこと一生懸命積極的に今後も進めていただきたいと、よろしくお願ひしたいと、こう思いますので、またこの質問はこれで終わりたいと思います。

### 「保育・教育について」

○中山武彦 続きますして、3番、保育・教育について伺いたいと思います。

保育所や幼稚園を利用していない未就園児ということの対応ということでございまして、その未就園児を育てているご家庭では、幼児教育の無償化等の恩恵を受けていらっしゃる方もいらっしゃいます。また、育児の孤立化というところ、最近では非常に心配される事案もございしますが、孤立しがちな育児の状態を防ぐために、公明党としても子育て応援トータルプランというものを提言し、親が就労していないご家庭も定期的に利用できる保育制度、こども誰でも通園制度、仮称でございすけども、これを創設されることとなっております。政府のこども未来戦略方針には、全ての子育て家庭を対象とした保育の拡充が明記されております。この少子化対策、今後3年間で、昨日も質問あったとおり、加速度的にされると聞いておりますが、保育士の配置や、また処遇改善など様々な課題がありますけども、香芝市も可能な限り制度に乗っかっていただきたいと、こう思うわけでございます。

そこで、まず伺いますけども、香芝市で現在保育所、こども園等を利用されている状況を教えてください。4歳児、5歳児はほとんどの方、多分幼稚園等を利用されてると思いますので、ゼロ歳児から3歳児の状況について教えてください。

○福祉部長 令和5年4月1日現在の年齢別人口に対する入所率でお答えさせていただきます。

ゼロ歳児は12.4%、1歳児は50.7%、2歳児は60.4%、3歳児は95.5%でございます。

以上でございます。

○中山武彦 今のご答弁でゼロ歳、1歳、2歳児の方で保育所やこども園等を利用されていない方も半ば近くいらっしゃるということでございます。

未就園の子供さん、香芝でも多いと思いますけども、このような利用されていないご家庭への支援はどのようにされてるのか、教えてください。

○福祉部長 香芝市で実施しております子育て支援でございすが、つどいの広場事業、そしてホームスタート事業、こちらのほか幼稚園、こども園では園庭開放、未就園児交流保育、子

育て相談、また保育所では園庭開放、すこやか育児相談などがございます。また、民間保育園等では一時預かり事業も実施していただいております。

以上でございます。

○中山武彦 今いろいろされてるということを伺いました。

それで、こども誰でも通園制度ということが新しく創設されますが、このことについて政府も来年度、本格的に、今現在モデル事業から本格実施ということで進めていると聞いております。香芝として情報等把握されているのか、伺いたいと思います。

○福祉部長 保育所などに通っていない未就園児のいるご家庭の負担軽減などを狙いとする事業と認識してございますが、国からの詳細な通知というのは届いてございません。報道等での情報となりますけれども、定期的な利用にするのか、また保育所等の定員に満たない場合に受入れをするのか、こちらなどの論点につきまして近く検討会を立ち上げ、年度内に実施方針をまとめると聞いてございます。

以上でございます。

○中山武彦 まだ実施方針等、決まってない状況だというふうに今伺いました。

モデル事業は進んでいるようでございまして、千葉県松戸市の例では保育所の空き定員、これを活用して市内3か所で実施されてると。ゼロ歳児は2人、1歳児は3人、2歳児は3人ということで週一、二回定期的に進めてるということで、これは面談をされて登録ということで、やはり面談で必要な場合ということでされてるようでございます。

子供の多い香芝でも大変今子供さんが、保育所の空きとか認定こども園の空きというのはなかなか考えづらいわけでございます。ただ、保育士の配置改善等もございまして、難しい状況とは思いますが、無償化の恩恵を受けていらっしゃる方への一つの支援、家庭で子育てされてる方の孤立支援ということの観点もありますので、検討していただいて、負担軽減になるように進めていただければと思いますので、よろしく、これはお願いしたいと思います。

続きまして、質問に入ります。

次は、少子・高齢化の中での献血ということで、中学生の献血教育ということでございます。

少子・高齢化、また新型コロナウイルスの感染拡大を背景に高校等での団体献血が中止ということで、若年層の献血者が減少してるということで聞いております。今後、人口動態がどんどん変わってくる中で、献血の可能な人、減少することがさらに予想されるわけですが、政府の骨太方針にも血液の事業に関する記載がなされておまして、国内での血液製剤の自給、また安定的な確保の推進が織り込まれております。献血できる年齢は16歳から69歳ということであるということですが、香芝でも中学校から献血教育というところ、16歳になれば献血に行こうという機運を高めていってはどうかと思っております。香芝では、どのように取組を進めるの

か、伺いたいと思います。

**○教育部長** 現行の学習指導要領の中で献血教育についての明確な位置づけは示されておりませんが、現時点におきましては献血教育の取組は実施のほうはしておりませんが、ただ今議員おっしゃるとおり若年層の献血率が低いという実態、これを鑑みた場合、日本赤十字等の関係機関と連携を取りながら、例えば中学校の先生方への啓発、そういった部分から検討してまいれたらと考えております。

以上です。

**○中山武彦** 指導要領に入っていないということでございますね。これは、献血によって血液を必要とされる患者の方々からのたつての願いで、中学校等の学習指導要領に盛り込むことも一つの狙いとして運動されているというふうに聞いております。

厚生労働省が高校生にはパンフレット「けんけつHOP STEP JUMP」という啓発パンフを配布されてるということを知っていますが、今の普及啓発、香芝市でどう考えているのかというところを教えてくださいたいと思います。

**○教育部長** 市のほうに奈良県教育委員会を通じて厚生労働省、文部科学省より中学生を対象とした献血の普及啓発についての依頼が来ております。各学校の実情に応じて現在対応しているような状況でございます。

**○中山武彦** 実際の学校での対応ということは、どのような形でされて普及されているのか、教えてくださいませんか。

**○教育部長** 厚生労働省より作成された献血の普及啓発に関するポスターが各中学校に配布されてきておりますが、対応は様々でございますので、今後につきましては校内への掲示を含め、先ほど申しあげましたような形での職員への周知、そちらのほうも検討してまいりたいと考えております。

**○中山武彦** ポスターも、私はちょっと見たことないような気もいたします、学校時々行きますけども。指導要領にないので、ちょっとなかなか教育も難しいという話は分かりました。なかなか答弁しにくいなという話も分かるんですが、先生方から啓発を検討していただくということで、例えばこのパンフレット、書かれている内容、高校生用ですけども、献血の必要性、人工的には血液はつくれないとか長期保存はできないけども、必要とする患者さんがたくさんいらっしゃるというようなことですよ。また、先生方にとってもこういった知識も蓄えていただきたいと思います。疾病に関する保健体育とかがん教育等の場で、工夫して進めていただきたいと思いますので、積極的な啓発をお願いしたいと思います。これは、これでまた終わりたいと思います。

続いて、学校教育の中で学校体育館のエアコン設置について伺いたいと思います。

これまでも質問等あったと思いますが、この夏の厳しさというのは大変危険な暑さということで、暑い夏休み期間、また2学期が始まりましたが、残暑も長引いているということでございまして、学校では体育館で集会や授業、部活など進められておりますけども、熱中症が心配されるというところでございます。

また、学校体育館は避難所に指定されていることから、エアコン設置の検討というところを進めていただきたいと考えておりますが、市の考えについて伺いたいと思います。

**○教育部長** 学校体育館へのエアコンの設置につきましてでございますけども、やはり今おっしゃっていただいたように避難所としての空調整備ということもでございます。現在防災会議の分科会で調査されておりますので、その結果を受けて対応していくことになる、そのように考えております。

**○中山武彦** 防災の観点で分科会の課題に上げていただいているということでございますね。ありがたいことだと思います。教育委員会からも熱中症対策というところで、検討推し進めていただきたいと、このように思います。

文科省の昨年の調査が出ておるところでございますけども、体育館の公立小・中学校の空調の設置率は15.3%ということで、かなり低い状況です。ただ、災害時の調達協定によって外部から持ち込むという協定をされているところを加えると24.7%というところでもございますので、このようなことだと思いますけど、まだまだ全国的に少ないと思いますので、その点、押し上げていただけますようお願いしておきたいと思います。

では続きまして、次の質問に入ります。

最後に、夜間中学の入学案内について伺いたいと思います。

令和2年の国勢調査というところでは、従来から調査されている小学校の未卒の方、未就学者というものに加えまして、最終卒業学校が小学校の人の人数が明らかになりました。2つ合わせまして、義務教育の未修了者数は奈良県内で8,513人となっております。そのうち香芝では324人という数字が出ております。

義務教育が未修了となる背景には、従来から言われてますように、戦争、また差別、貧困、近年はいじめ、不登校なども、こういったことで悩んで卒業しないということがあるかと思えます。ご家庭の子供さんの様々な状況、義務教育を十分に受けられなかった卒業生の方、外国籍の方など様々に考えられるところでございます。教育機会確保法ということで、地方公共団体は夜間、その他特別な時間において授業を行う学校における就学の機会の提供、その他の必要な措置を講ずるものと規定がされております。香芝でも学びの機会を必要とする人に支援が届くように手だてをしていただきたいと思います。

先日、全国夜間中学校研究会というところの調査結果というところを聞きました。県の公明

党が要望を受けて詳細に教えていただきました。夜間中学生が入学に直接影響を与えたものは何か、広報とか情報のことなんですが、調査結果によりますと、やはり人からの紹介が一番多かったということでございました、約 63%という結果でした。次いで、自治体の広報、紹介が約 11%となっております。このことから、夜間中学についての認識、まだ社会に十分一般化されていないと言えらると思います。

そこで、まず伺いますけれども、香芝ではどのような方法で夜間中学の広報をされているのか、この点を伺いたしたいと思います。

**○教育部長** 現在、香芝のほうでは奈良県の教育委員会作成の夜間中学の紹介パンフレットがございますので、これを市役所のほうに配置しているような状況でございます。

**○中山武彦** 紹介のチラシを見せていただきましたけれども、今回質問するまで私も気がつかなかったということで、一般の住民と子供さんの目に届いていないんじゃないかなと、こう危惧するわけですね。そういったことで、工夫してもらいたと思います。

奈良県内には、3つの公立夜間中学とボランティアさんによる自主夜間中学が3つあって、6つの学校があると聞いてますが、公立夜間中学校でも設置市以外の方、入学は可能ということで通われていますけれども、香芝市の住民について夜間中学通ってる方の人数教えていただければと思います。

**○教育部長** 現在橿原市立畝傍中学校、こちらの夜間学級のほうに在籍の方が2名おられます。以上です。

**○中山武彦** 2名ということですが、自主夜間中学のほうの分については把握されて2名ということでしょうか。全体の数は分かっていますか。

**○教育部長** 公立中学校につきましては、香芝から通学されてる方は2名と聞いております。私の分もありますので、その部分には全てを把握しているわけではございません。

**○中山武彦** 私は、頂いた資料によりますと5名いらっしゃったというふうに聞いております。恐らく自主夜間中学の方が2名以外の方だと、このように考えてるわけですが、夜間中学で入学されている方に対する義務教育ということで、香芝市が負担しているものがあれば教えてください。

**○教育部長** 先ほどの畝傍中学校に係る生徒分でございますけれども、学習に係る経費について畝傍中学校の設置者である橿原市と協定を結んでおりまして、在籍している人数等に応じて物件費や補助費のほう、こちらのほうを負担しております。

以上でございます。

**○中山武彦** 義務教育ということで負担をいただいているということですね。

学びのセーフティーネットの役割を持つ夜間中学校ということで、不登校に悩んでる方も、

ご家庭等、子供さんですね、様々な理由で義務教育、十分に受けていच्छゃらない、受けられていない方も入っていけるということで、非常に必要な学校だと、このように考えております。

香芝でも夜間中学の存在広く伝えていく必要があるということで、広報の方法について工夫してもらいたいと思いますけど、いかがでしょう。

○**教育部長** 夜間中学の意義や内容について、市教育委員会のホームページの紹介や、また必要と思われる卒業生への声かけ、またパンフレットの配置場所の拡充などとともに、他の部署とも連携できる部分については検討してまいりたいと思います。そして、夜間中学校での学びを必要とされている方々にその機会が保障されるように、そのように考えていきたいと思ひます。

以上でございます。

○**中山武彦** 福祉部にも伺いたいんですが、この資料を見ましたら民生委員さんから紹介された方もいच्छゃるようです。住民の様々な状況を把握する立場にある民生委員さん、この方からも紹介がある可能性はあると思うんですが、香芝市では奈良県教委から、そういった関係機関からの依頼は出てるのでしょうか。

○**福祉部長** 確認しましたところ、県教委等から夜間中学に関する啓発などの依頼は特に受けておらず、民生委員の活動において夜間中学に関する啓発については行っていないのが現状となっております。

以上でございます。

○**中山武彦** 県教委から来てないということで、部署は違いますが、やはりそういった可能性があると、広報の地域の近所の方は状況がよく存じてる方ですので、ぜひとも民生委員さん、窓口的な役割を果たしていただきたいんですが、その点はいかがでしょう。

○**福祉部長** 民生委員の方々も学校との連携は重要であると認識していただいておりますので、夜間中学の啓発なども含めまして民生委員と学校などの教育機関とのさらなる連携、向上を図ってまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

○**中山武彦** 教育長にこの点伺いたいんですが、夜間中学の義務教育ですから、そのあたりの広報等、推進等について考えを教えてください。

○**教育長** いろんな事情で十分教育受けられてない方でございます。機会がございましたら、ぜひとも多くの方が再度受けれる機会があったらということを考えております。

以上です。

○**中山武彦** 以上で、質問を終わります。ありがとうございました。